

# 佐野市アスリート育成プラン

平成30年（2018年）3月

栃木県佐野市

## 目 次

1	計画策定の背景	P 1
2	本市スポーツの現状と課題	P 1
3	計画の位置付け	P 2
4	計画期間	P 3
5	施策の基本方針	P 3
6	施策体系	P 4
7	施策と事業	P 5
8	事業費	P 7

### 参考資料

- ・【資料1】市立中学校運動部 男子生徒加入者状況 P 8
- ・【資料2】市立中学校運動部 女子生徒加入者状況 P 9
- ・【資料3】佐野市アスリート育成プラン事業5ヵ年計画 P 10
- ・【資料4】佐野市競技力向上対策検討委員会設置要綱 P 11
- ・【資料5】佐野市競技力向上対策検討委員会委員名簿 P 12
- ・【資料6】佐野市アスリート育成プラン策定の経過 P 12

## 1 計画策定の背景

本市は、「スポーツ立市の推進」をリーディングプロジェクトの一つに掲げ、スポーツによるまちづくりに取り組んでおり、平成26（2014）年3月に佐野市スポーツ立市推進基本計画を策定し、生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備並びにスポーツツーリズムの推進により、スポーツによるまちづくりを進めることを明らかにしました。

スポーツ立市推進基本計画では、スポーツをする人・観る人・支える人の観点から幅広く捉え、生涯スポーツや競技スポーツに関わる活動から市民の心身の豊かさを養うとともに、スポーツを目的に本市を訪れてもらうスポーツツーリズムを推進し、スポーツの力による交流人口の増加や地域の活性化を図ることとしています。

スポーツ立市推進基本計画策定から4年が経過し、現在、第2期の計画を策定中です。ここまでスポーツ立市の理念は周知されてきていますが、各施策は推進途上であり、競技スポーツの振興においては、2022年栃木国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）（以下「栃木国体」という。）がある中で、改めて実効性のある取組みを行っていかねばなりません。

本市は栃木国体において、ラグビーフットボール全種別（女子を含む）とバレーボール成年男子の会場となります。地元開催として大会を盛り上げるためにも、出場選手の育成が喫緊の課題となっています。

## 2 本市スポーツの現状と課題

スポーツ大会の成績から推察すると、平成28（2016）年度・平成29（2017）年度の栃木県民スポーツ大会総合成績は、ともに14市中、第3位でした。特に、陸上競技は連続優勝を果たし、ソフトテニス、バレーボール男子やサッカーは、いずれかの種目が優勝するなど、好成績の原動力となる活躍を見せました。

中学校体育連盟の各大会では、陸上競技や水泳において複数の学校が関東大会出場を果たすなど、好成績を収めています。特に、陸上短距離では、優れた選手が全国大会で優勝を飾るなど、市民に感動をもたらし、陸上への関心も高まっています。

高校生のスポーツでは、市内に公立高校が3校、私立高校が3校あり、佐野日本大学高等学校では陸上競技や野球、サッカー、ラグビーフットボール、剣道、また、青藍泰斗高等学校では野球や卓球、ウエイトリフティング、その他、佐野高等学校と佐野東高等学校ではボートなどが全国大会出場を果たしており、栃木国体に向けて県の強化拠点指定校となることから、県の支援のもとで強化を進めています。

平成 29 年度栃木県強化拠点指定校（市内中学校・高等学校）

No.	競技名	男子	女子
1	テニス		●佐野高附属中（拠点校）
2	陸上競技	●佐野日大高（強化推進拠点校）	
3	バレーボール		●佐野日大高（強化推進拠点校）
4	サッカー	●佐野日大高（強化推進拠点校）	
5	卓球	●青藍泰斗高（強化推進拠点校）	●青藍泰斗高（強化推進拠点校）
6	ラグビー	●佐野日大高（強化推進拠点校）	●佐野日大高（強化推進拠点校） ●佐野高（強化推進拠点校）
7	剣道	●佐野日大高（重点強化拠点校）	●佐野日大高（強化推進拠点校）
8	ボート	●佐野高（重点強化拠点校） ●佐野東高（強化推進拠点校）	●佐野高（重点強化拠点校） ●佐野東高（強化推進拠点校）
9	カヌー	●佐野東高（強化推進拠点校）	●佐野東高（強化推進拠点校）
10	ダンス		●佐野東高（強化推進拠点校）

個々の輝かしい成績の裏には、選手のたゆまぬ努力と熱心な指導がつきものですが、選手の練習の場は、主に学校の部活動や地域のスポーツクラブであり、指導者の育成についても、学校やクラブが独自に行うことに頼らざるを得ない状況です。

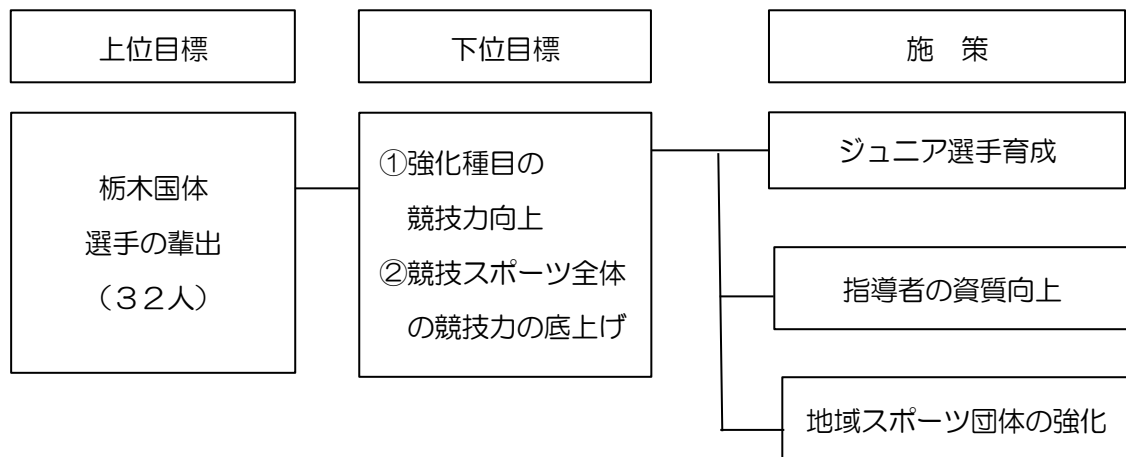
なお、市立中学生の運動部の加入状況を調べたところ、ここ数年、男女ともソフトテニスが人気ですが、小学校時代から続けているスポーツは、男子が野球とサッカー、女子が陸上やバレーボール、バスケットボールが多い状況となっています。人気の部活動のなかで、小学校時代からそのスポーツを続けている生徒が少ないことから、中学校での部活動選びに小学校時代のスポーツの経験が影響しているものと思われます。（8～9頁資料参照）

### 3 計画の位置付け

平成34（2022）年の栃木国体に向けた選手育成は、栃木県が県を挙げて先導的に取り組んでいます。本市においては、栃木県の動向や市内の状況を踏まえ、独自の取組みを実施します。

本計画では、栃木国体選手の輩出を上位目標に掲げ、以下の取組みにより目標の達成を目指し本市の競技力向上を図ります。

従って、本計画は栃木国体に向けた選手の育成を契機とした佐野市スポーツ立市推進基本計画の競技力向上に関する基本方針と実施計画でもあります。



☆栃木国体への輩出選手の目標人数は、過去5年間に本市から国体へ出場した選手の平均人数（12.8人）に2.5倍した数値を設定

※平均人数は、佐野市全国大会等出場祝金交付実績より算出

※2.5倍は、開催県となる栃木県が栃木国体県選手団の総数を、例年の選手数の約2.5倍で算出しており、その数値を引用

$$12.8人 \times 2.5 = 32人$$

#### 4 計画期間

平成34（2022）年9月中旬から10月中旬に開催される栃木国体に向けた選手育成を上位目標としていることから、平成30（2018）年から平成34（2022）年の5年間とします。

#### 5 施策の基本方針

本計画の上位目標を達成するためには、強化する競技の種目を絞り、限られた資源を効率的、効果的に投入すべきです。強化種目には、本市開催のラグビーフットボールとバレーボール、そして、市を挙げていくつもの大会を開催する陸上競技が市民の理解を得やすく適しています。

強化策の対象は、栃木国体の主力として活躍が期待される小学校高学年から中学生までとし、選手の発掘から育成強化につなげていきます。高校生以上の選手に対しては、より高度な指導が求められるため、本市が主体となった指導プログラムでは十分な指導が難しいことから、高校や大学、企業での指導内容を信頼し、引き続き所属先での育成強化に期待します。

具体的な強化策としては、継続的で個別的な指導が選手の能力を伸ばすものであ

り、レベルの高い指導者が講師となって定期的実施する講習会（クリニック）を選手能力開花、市内指導者の指導技術の向上の場として定着させていくとともに、競技力の向上を目指す関係者の理解共有の場としていきます。

また、選手や指導者、スポーツ団体の向上心を刺激するために、現行の表彰制度、支援制度を活用し、自発的な取組みを呼び込みます。

なお、教育現場の部活動では、教員の減少や経験不足から、運動部の指導者を確保できない状況が散見するため、本市が指導者バンクを設立し、登録した指導者を学校に派遣する方策を検討してきましたが、現実的に課題が多いことから、引き続きの研究事項とします。

☆強化種目は、ラグビーフットボールとバレーボール、陸上競技（短距離走と中・長距離走）の3種目

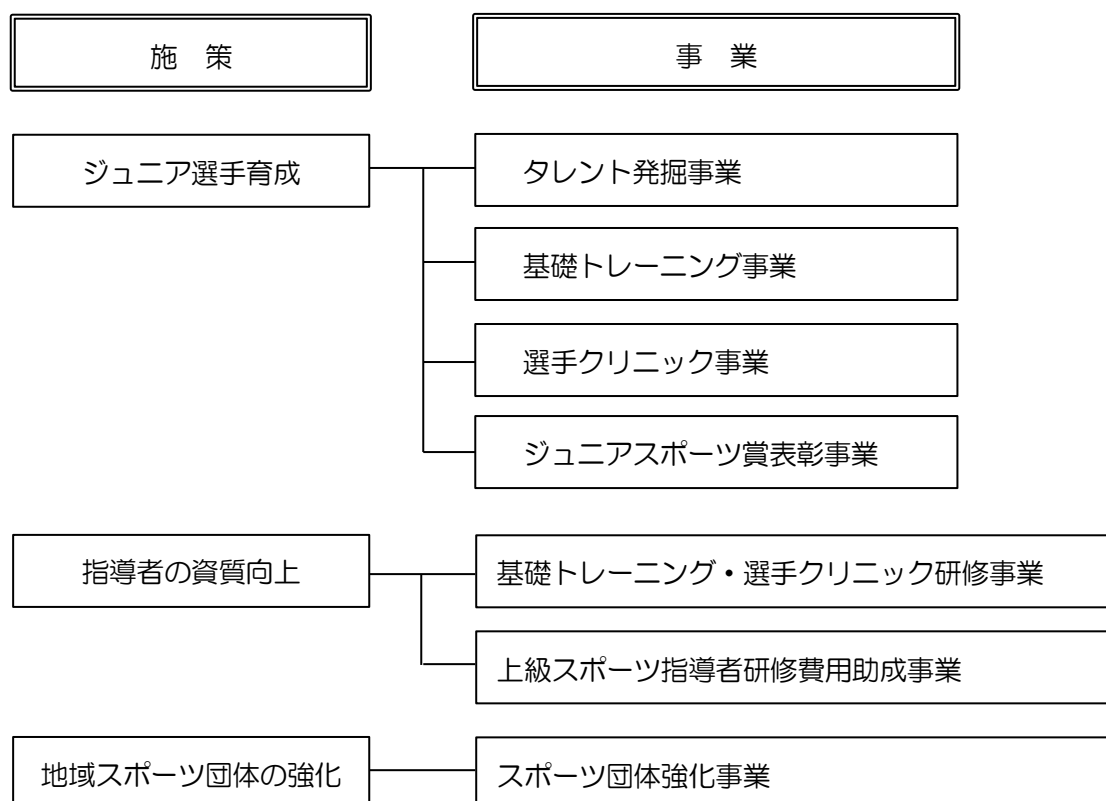
☆クリニックは、選手能力向上と地元指導者の技術向上の場・理解共有の場

☆佐野市ジュニアスポーツ賞、佐野市スポーツ強化事業補助金の活用

☆市の指導者バンクは今後も検討事項

## 6 施策体系

「3 計画の位置付け」に掲げた目標を達成するために、次の事業を推進します。



## 7 施策と事業

### ジュニア選手育成

ラグビーフットボールとバレーボール男子については、中学校運動部での活動が無かったり競技人口が少ないため、強化種目に適した人材を見つけることが難しい状況です。そのような状況下ですが、素質ある選手を早い時期から見出し、育てなければ有望な選手は生まれません。選手の発掘と育成が連携し、意欲ある選手の能力をしっかりと伸ばすことが求められます。その前提には、佐野市内の児童生徒の基礎的な体力・運動能力の底上げを図り、裾野を広げ競技人口増加に努めることが必要です。

#### (1) タレント発掘事業

小学5年生と小学6年生及び中学1年生から中学3年生の新体力テストのS及びA(S・A～Eの6段階)の児童生徒を対象に、ラグビーフットボールとバレーボール、陸上競技の第一人者的な指導者が立ち会う中で、強化種目の適性テストを実施し、選手の素質を見極めます。

評価の高かった児童生徒は本人の希望を尊重しつつ、強化種目への参加を勧めます。

①実施時期：平成30(2018)年と平成31(2019)年の6月に陸上競技場で適性テストを実施

6月・結果協議

(佐野市競技力向上対策検討委員会、市内各競技協会指導者)

本人説明、意思確認

7月・選手クリニック事業参加

②指導者：強化種目競技団体からの推薦によりトレーナーを選任

#### (2) 基礎トレーニング事業

強化種目の技術向上に限らず、ストレッチ・体幹トレーニング・食育など身体能力の向上に資する講習会を実施します。

①対象：

- ・タレント発掘事業で選考され、国体出場に意欲のある者
- ・小中学校の部活動や地域クラブで国体正式競技を練習し、国体出場に意欲のある者

②講師：身体能力の向上に資する講習会を指導できる指導者

③実施時期：基礎トレーニング 実技 7月から2回程度  
健康管理・食育・ケガ予防等 各講座年1回

#### ※国体正式競技（４１競技）

都道府県対抗で行われ、得点対象（天皇杯・皇后杯）になる競技

陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウェイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・ソフトボール・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・スポーツクライミング・カヌー・アーチェリー・空手道・銃剣道・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン、スキー、スケート、アイスホッケー

### （３）選手クリニック事業

強化種目のシーズンに沿って、シーズン前、シーズン中、シーズン後等のタイミングで計画的に選手を指導するもので、同一の指導者が継続的に選手を指導することにより、長所伸長と欠点の修正を効果的に行います。

#### ①対象：基礎トレーニング事業に参加した者

平成30（2018）年度・・・小学5年、小学6年、中学1年、中学2年、中学3年

（小学生がいることで、総合型地域スポーツクラブの指導者が参考にしやすい）

平成31（2019）年度・・・小学6年、中学1年、中学2年、中学3年

平成32（2020）年度・・・中学1年、中学2年、中学3年

平成33（2021）年度・・・中学2年、中学3年

平成34（2022）年度・・・中学3年

#### ②講師：各強化種目（ラグビーフットボール、バレーボール、陸上短距離、陸上中・長距離）でナショナルチーム等の指導経験がある指導者、又はそこで指導を受けたことがあり、現在、指導者として実績のある者

### （４）ジュニアスポーツ賞表彰事業

小学生・中学生で国際大会・全国大会・関東大会で優秀な成績を収めた個人・団体に天明鑄物のメダルを贈呈し、今後の励みにしてもらいます。

#### ①対象：学校からの推薦があり、佐野市ジュニアスポーツ審議会において選考された者

#### ②表彰：市長賞・善行賞の表彰式とともに、1月に佐野市文化会館で行う。



## 指導者の資質向上

スポーツ指導者の多くは、日々の各スポーツ団体の活動等から指導技術を磨いているが、上級指導者の指導方法を多様な機会を捉えて学ぶことにより、自身の指導レベルの向上を図ります。

### (1) 基礎トレーニング・選手クリニック研修事業

クリニックは、スポーツ団体の指導者も指導内容を研修できるものとし、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体の指導者が優れた指導者の指導方法・指導の視点を学ぶことのできる「気づき」の機会とします。

- ①対象：市内スポーツ団体指導者
- ②概要：基礎トレーニング事業のとおり

### (2) 上級スポーツ指導者研修費用助成事業

上級指導者の有資格者を増やすため、佐野市体育協会等を通じて、資格取得研修への参加を促し、資格取得費用の一部を助成する。

- ①対象：市内スポーツ団体が推薦する指導者
- ②詳細：佐野市スポーツ指導者育成事業補助金交付要綱のとおり

## 地域スポーツ団体の強化

地域スポーツ団体の強化により、本市の競技スポーツの向上を図るため、団体が計画し実施する事業の一部を補助します。

### (1) スポーツ団体強化事業

総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体が計画する競技力向上に資する事業の実施に対し、事業費補助金の交付により支援します。

- ①対象：市内スポーツ団体
- ②詳細：佐野市スポーツ強化事業補助金交付要綱のとおり

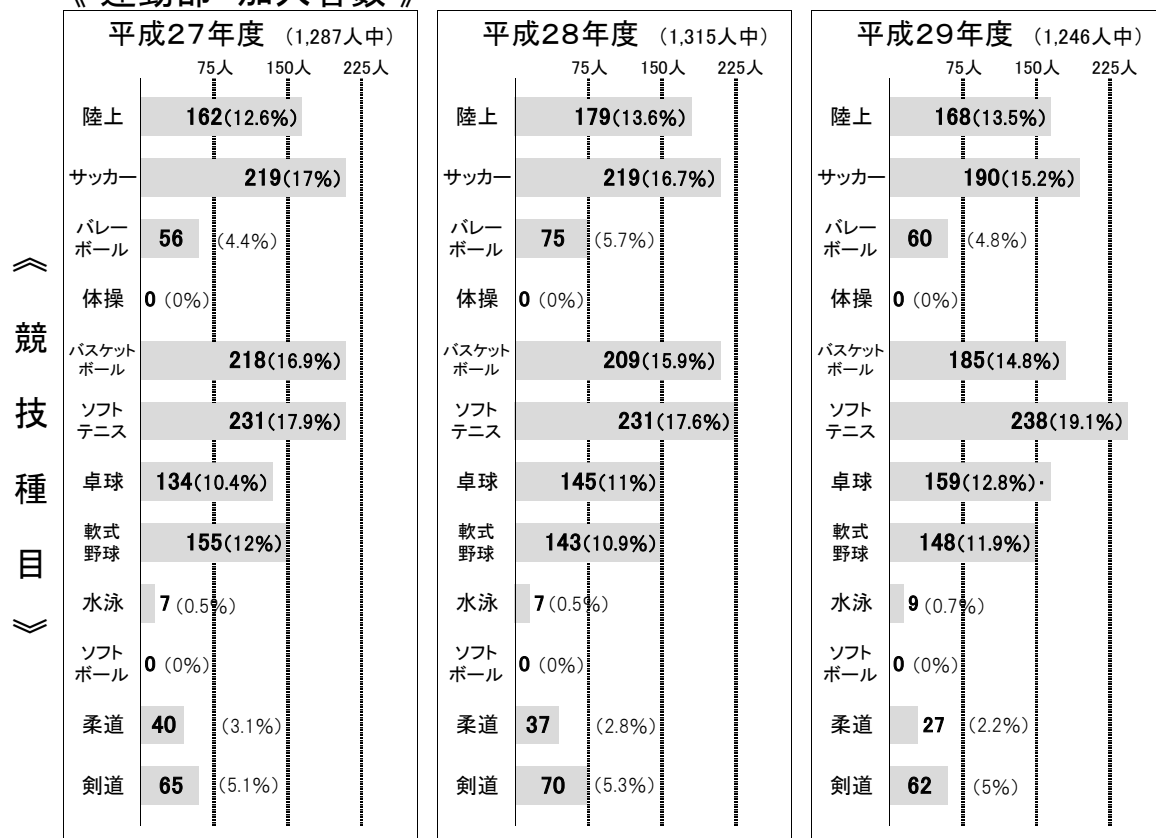
## 8 事業費

原則、佐野市スポーツ立市推進課事業予算の範囲内において、事業を実施するものとしてします。

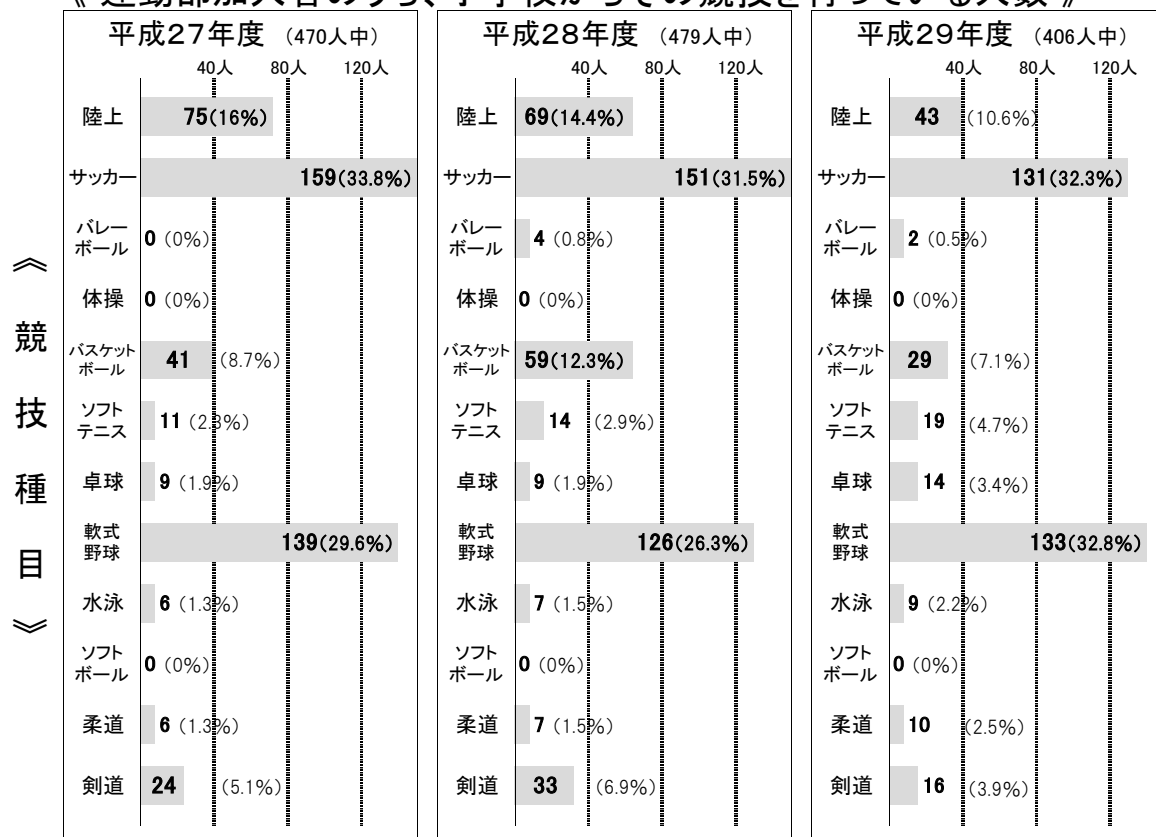
【資料1】市立中学校運動部 男子生徒加入状況（平成27年度～平成29年度）

※ グラフの数値は、人数（カッコ内は割合）

《 運動部 加入者数 》



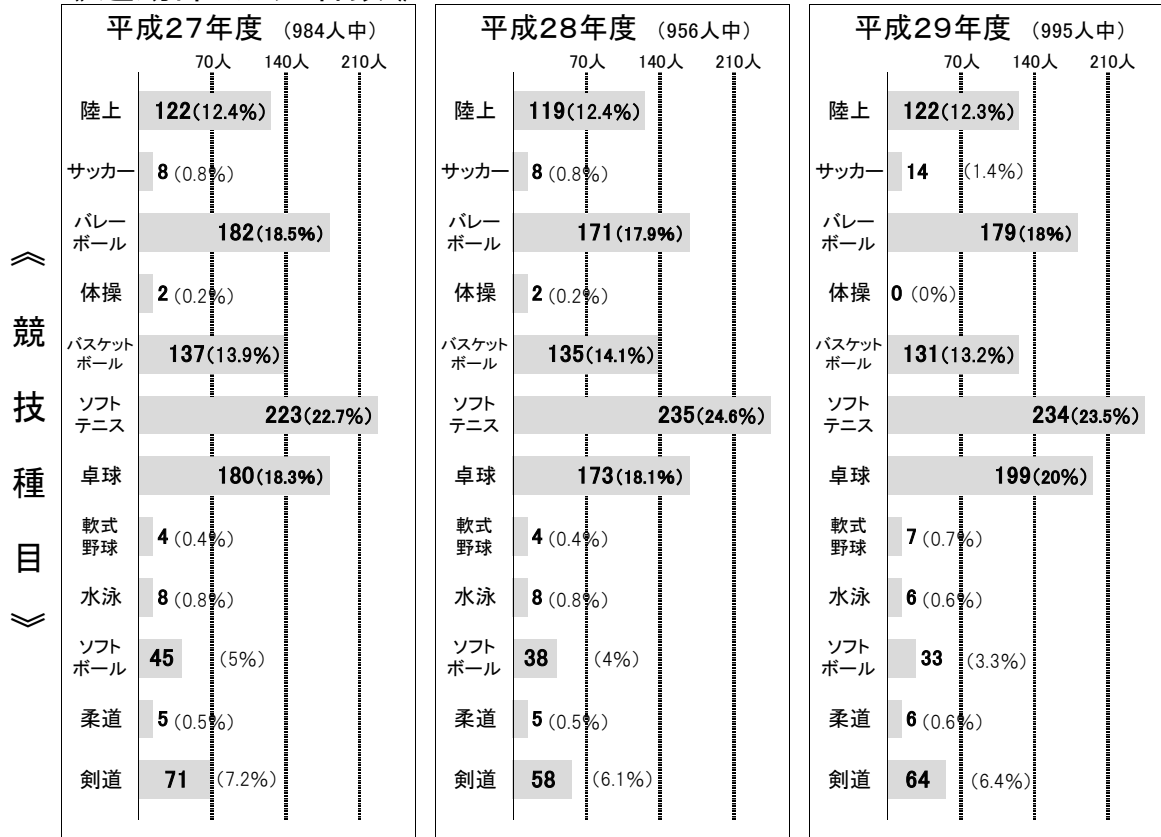
《 運動部加入者のうち、小学校からその競技を行っている人数 》



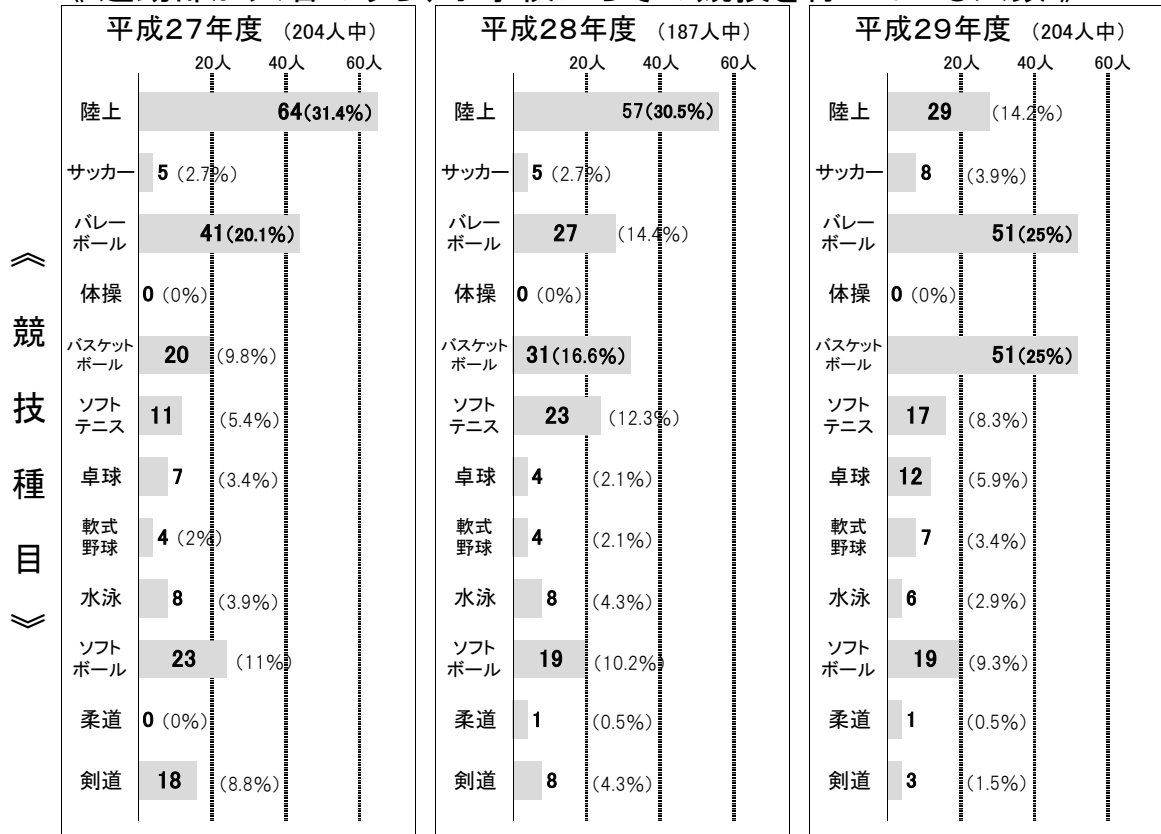
【資料2】市立中学校運動部 女子生徒加入状況（平成27年度～平成29年度）

※ グラフの数値は、人数（カッコ内は割合）

《 運動部 加入者数 》



《 運動部加入者のうち、小学校からその競技を行っている人数 》



### 【資料3】佐野市アスリート育成プラン事業5ヵ年計画

○実施事業      ●重点事業

《 施 策 名 》 ・ 【 事 業 名 】	実施予定年度				
	30年度 (4年前)	31年度 (3年前)	32年度 (前々年)	33年度 (前年)	34年度 (国体)
《 ジュニア選手育成 》					
(1)【 タレント発掘事業 】	●	●			
(2)【 基礎トレーニング事業 】	●	●	●	●	○
(3)【 選手クリニック事業 】	●	●	●	●	●
(4)【 ジュニアスポーツ賞表彰事業 】	○	○	○	○	○
《 指導者の育成向上 》					
(1)【 基礎トレーニング・選手クリニック研修事業 】	●	●	●	●	●
(2)【 上級スポーツ指導者研修費用助成事業 】	○	○	○	○	○
《 地域スポーツ団体の強化 》					
(1)【 スポーツ団体強化事業 】	○	○	○	○	○

